



GIS提出手順：オンライン養殖場マッピングツール。

# 目次

1.	改訂履歴.....	3
2.	連絡先.....	3
3.	はじめに.....	4
4.	OFMTの概要.....	5
5.	ツールと機能。 .....	6
6.	手順 - クライアント. ....	10
7.	プロセス - 審査機関。 .....	19
8.	追加機能。 .....	23
9.	FAQ .....	24
10.	用語と定義.....	25
11.	役割と責任.....	28

## 1. 改訂履歴

日付	バージョン:	改訂の概要:
2025年11月10日	1.0	手順の初回リリース

## 2. 連絡先

ASC (水産養殖管理協議会)

Maliebaan 50-B

3581 CS Utrecht The Netherlands

### 3. はじめに

本ガイドでは、クライアントおよび審査機関（CAB）が、ASCオンライン養殖場マッピングツール v3 (OFMT) を用いてポリゴンを作成し、サイト情報を確認し、サイトのポリゴンの精度を評価し、ASC基準に対する適合性のもとでそれらをASCおよび各自の審査機関（CAB）に提出する方法について紹介し、詳細に説明します。

クライアントは、関連するASC要件に対する適合性のもと、本ASC GIS提出手順に従ってポリゴンを作成し、提出します。ポリゴンの精度の検証は、養殖場に対する審査機関（CAB）の予備評価の一部を構成する場合もあります。

各提出物は、メインデータベースに追加される前に、自動の組み込み検証チェックを経て、提出されるポリゴンファイルの名称、形状、形式が要求される基準を満たしていることを確認します。これにより、すべての空間情報が一貫性と信頼性を保持し、認証および報告に利用できる状態になります。

本文書の目的は、利用者（クライアントおよび審査機関（CAB））を支援することです。

- OFMTおよび運用中の検証システムを理解すること。
- ポリゴンを作図し、提出し、提出内容を確認すること。
- 本プロセスを経る各提出物のステータスを把握すること。
- GISの用語およびツールにより精通すること。

本文書には、含まれている技術用語を説明するための「[用語及び定義](#)」セクションがあります。

## 4. OFMTの概要

本OFMTの目的は、ASC要件に従い、認証単位（UoC）内のすべてのサイトに関する地理情報システム（GIS）の空間データの正確かつ一貫した提出および検証を確保することです。

### 4.1 クライアントの責務

初回申請または再認証の手続きの一環として、クライアントは、UoC内の各サイトおよび施設の地理座標（緯度・経度）を審査機関（CAB）に提供するものとします。

クライアントは、審査機関への提出前に、すべての座標の正確性をご確認いただくため、ASC Coordinate Capture Tool をご使用いただくものとします。

### 4.2 審査機関の責務。

審査機関は、座標および関連するすべてのサイトの詳細が OFMT（オンライン養殖場管理ツール）上で表示されることを確実にするため、審査の実施前に、クライアントの座標を MyASC に入力するものとします。

#### 4.2.1 審査機関による初回審査において、当該審査機関の審査員はOFMTを使用しなければなりません：

- 養殖場のご担当者様と連携し、UoC 内の各サイトおよび施設を表すポリゴンを作成し、その正確性を検証してください。
- 各サイトの位置および境界の妥当性を評価してください。

#### 4.2.2 更新審査において、審査機関の審査員は、以下を実施しなければなりません：

- UoC内のすべてのサイトおよび施設に関する既存のポリゴンの正確性および完全性をご確認ください。
- 審査中に特定された変更または是正を反映するため、必要に応じてデータを更新してください

## 5. ツールと機能。

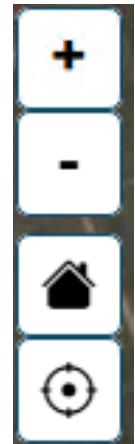
### 5.1 地図のナビゲーション。

これらの機能により、Webアプリの操作およびナビゲーションが可能になります。

ズームイン (+) は地図を拡大し、地物が大きく表示されます。ズームアウト (-) はその逆で、ズームレベルを下げます。マウスホイールでも同様の機能を利用できます。

家の形をした「Reset Zoom」ボタンは、ユーザーがOFMTに最初にアクセスした際に表示される既定の地図表示に戻すことができます。

照準の形をした「Current Position」ボタンは、Webブラウザーで位置情報の有効化を促します。これにより、十分なネットワーク接続がある場合、地図上に現在位置を表示できます。



### 5.1.1 凡例

地図の右上にある凡例は、地図上の各記号、シンボル、色、および線が何を表しているかを説明する部分です。

#### 5.1.1.1 ポイント。

経度・緯度座標に基づき、個々の位置を示すアイコンまたは点です。本アプリケーションでは、魚種/生産カテゴリ別に分類された養殖場の所在地を表します。将来的にさらに多くの魚種が基準に統合された場合には、これが更新されます。魚種タブには、「Active」（認証済み、初回審査中、または認証一時停止）のASC養殖場の所在地が世界中からすべて表示されます。

#### 5.1.1.2 ポリゴン領域。

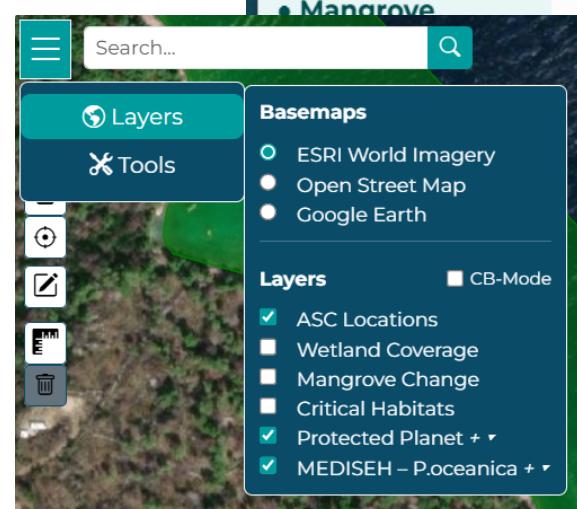
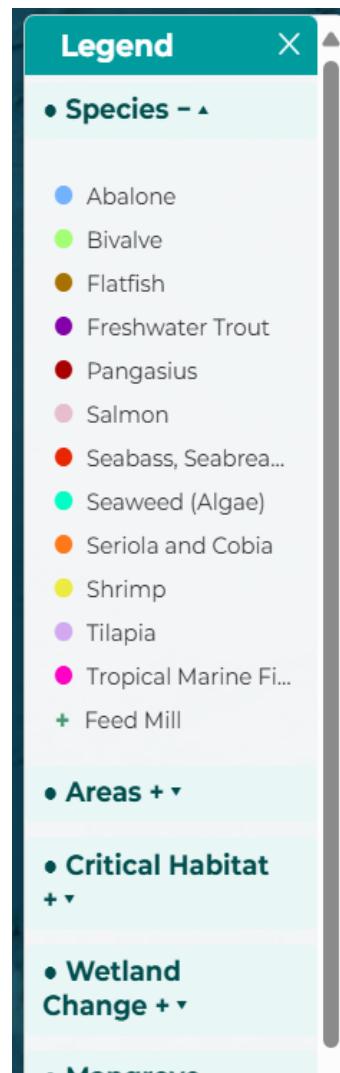
これらは指定区域を示すポリゴンで、凡例にも表示されています。エリアタブでは、描画済みポリゴン（ある場合）とProtected Planetのレイヤーを見つけることができます。これをクリックすると、選択されたエリアに関する情報が表示されます。ポリゴンを描画すると、凡例に示された色に一致する色で地図上に表示されます。地図上には、他の指定区域も表示されています。重要生息地、湿地の変化、マングローブの変化、および地中海のアマモ被覆が、その他のレイヤーを構成しています。ご留意ください。これらのレイヤーにはズームフィルターが有効になっており、ユーザーが十分にズームインした場合にのみ表示されます。

#### 5.1.1.3 レイヤー。

ベースマップ - このセクションでは、どの地図背景とデータレイヤーを表示するかを制御します：

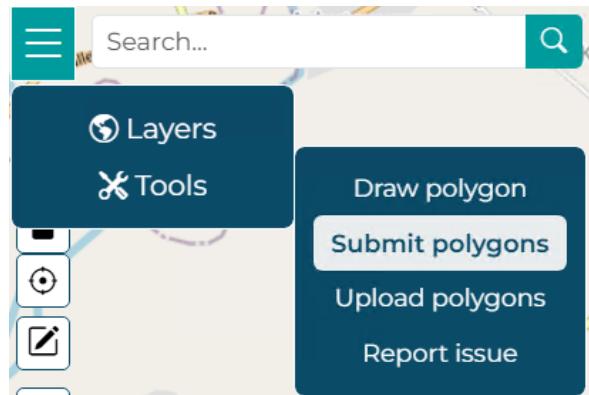
ベースマップ（同時に1つのみ）がキャンバスとして機能します：

- Esri World Imagery
- Google Earth
- OpenStreetMap（道路、POIなど）



レイヤー（切り替え可能なオーバーレイ）は地物を表示します——ASC養殖場の所在地やProtected Planetのデータなどです。大規模なレイヤーであるため、十分にズームインしてはじめて表示されるレイヤーもある点にご注意ください。

**5.1.1.4 ツール。**  
ツールセクションには、ポリゴン描画セクションと同じツールが含まれますが、さらに「[問題を報告](#)」ボタンが追加されています。



## 5.2 問題を報告。

「問題報告」ボタンは、不具合、エラー、不整合、機能の欠落や故障、その他利用者のかたに支障をきたす事象がある場合に使用します。以下のとおりOFMTのフォームにご記入のうえ、説明および可能であればスクリーンショットを添付してください。問題は修正および更新のためASCのGISコーディネーターにメールで送信されます。

Report an issue X

Please provide your e-mail. \*

Type \* \*

Issue  
 Incorrect location

Describe the issue: \*

Please upload screenshots related to the issue. \*

Choose Files No file chosen

Send

### 5.3 描画リスト。

**1: ポリゴンを描く** - このアイコンは地図上でポリゴン描画機能を有効にし、養殖場の境界を取得する最初のステップです。

**2: ポリゴンを提出** - このアイコンは、すべてのポリゴンが作成され、ASC/審査機関に提出する際に使用します。

Drawing list			X		
1. Draw polygon	2. Submit polygon				
3. <input type="checkbox"/>	Site ID	Name	5.	6.	7.
4. <input type="checkbox"/>	S0000000	Test Upload			

**3: すべて選択** - このボタンは、ダイアログボックスに表示されている現在のセッションで作成されたすべてのポリゴンを選択します。一度に多くのポリゴンを削除したい場合に便利です。



**4: 個別選択** - 前のアイコンと異なり、このアイコンは紐づいているポリゴンのみを選択します。すべてではなく一部のポリゴンを削除したい場合に役立ちます。

**5: 編集** - このアイコンで選択したポリゴンの編集機能が有効になります。クリックしてファイルの詳細を編集します。

**6: 個別に削除** - このアイコンは、接続されているポリゴンを削除します。誤操作を防ぐため、削除の確認を求めるポップアップが表示されます。

**7: 位置表示** - このアイコンは紐づいているポリゴンを地図の中心に表示します。多数のポリゴン間での切り替えが容易になります。

**8: すべて削除** - 選択したポリゴンをすべて削除するには、このアイコンを選択します。確認のポップアップが表示されます。

**9: Upload Polygon** - ポリゴンの描画をアップロードするには、このボタンを使用します。

## 6. 手順 - クライアント.

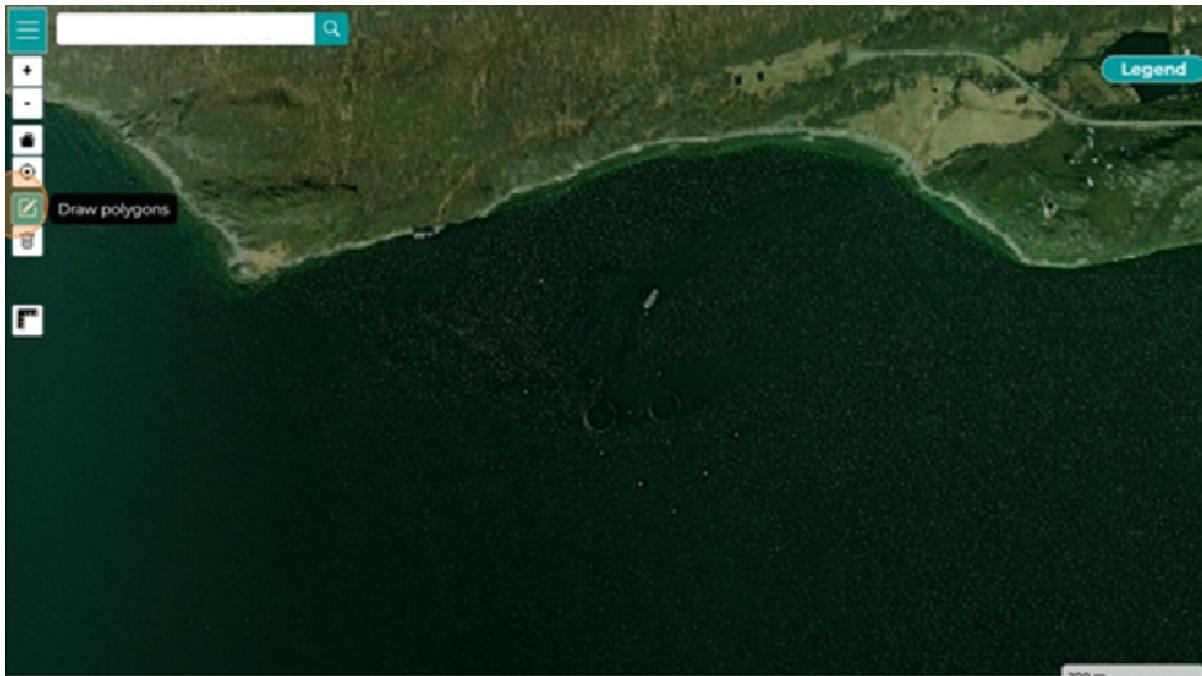
1. こちらからホームページに移動してください。



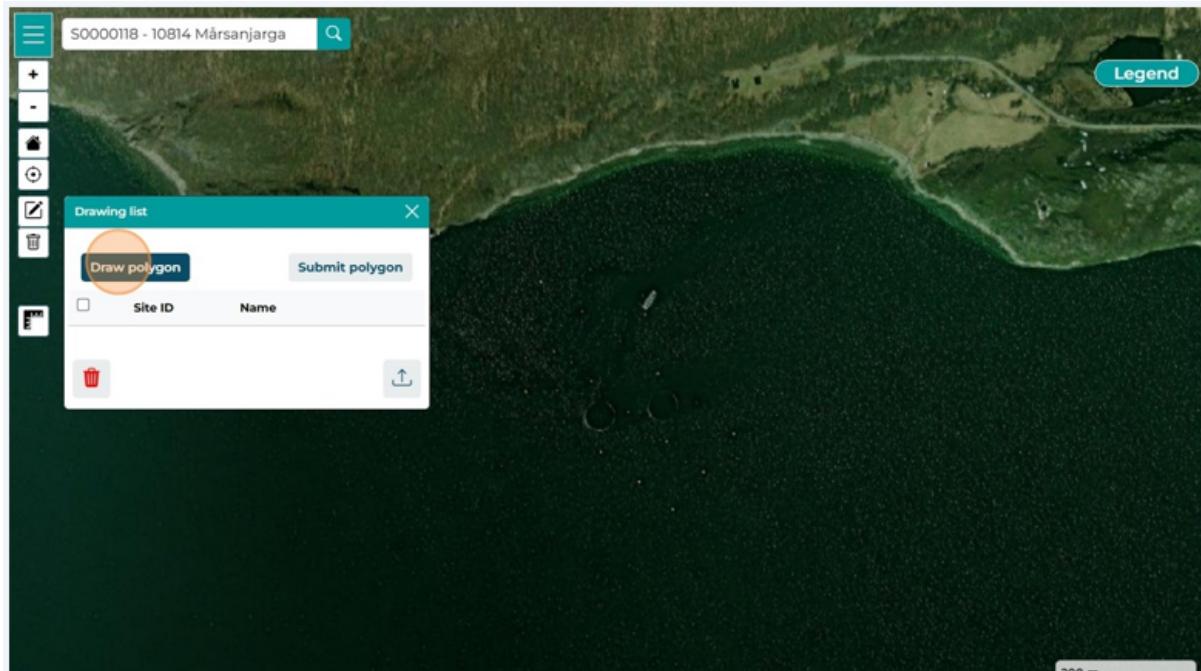
2. 「Search…」フィールドをクリックしてください。対象のサイトを特定するため、サイトID、サイト名、クライアント、または任意の地理的エリアを入力してください。検索結果から該当する結果を選択してください。座標は緯度/経度の形式と順序でも使用できます。



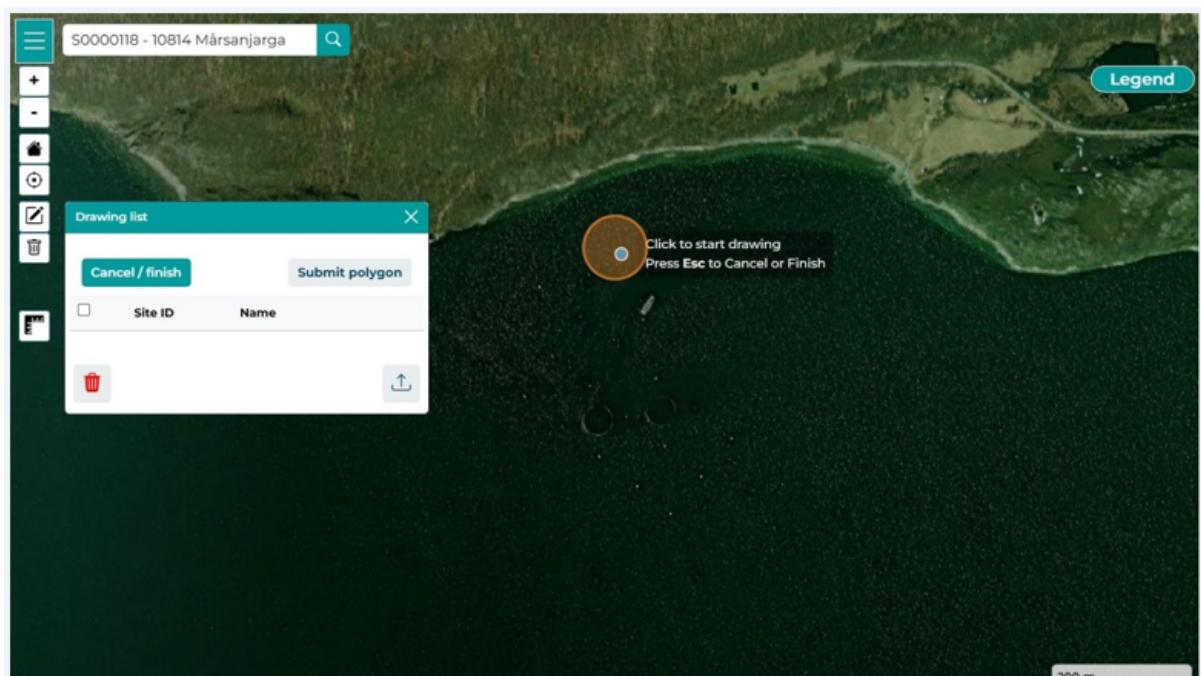
3. 地図は選択したエリアにズームします。正しいエリアになったら、パネルを開くために「Draw Polygon」ボタンを選択してください。



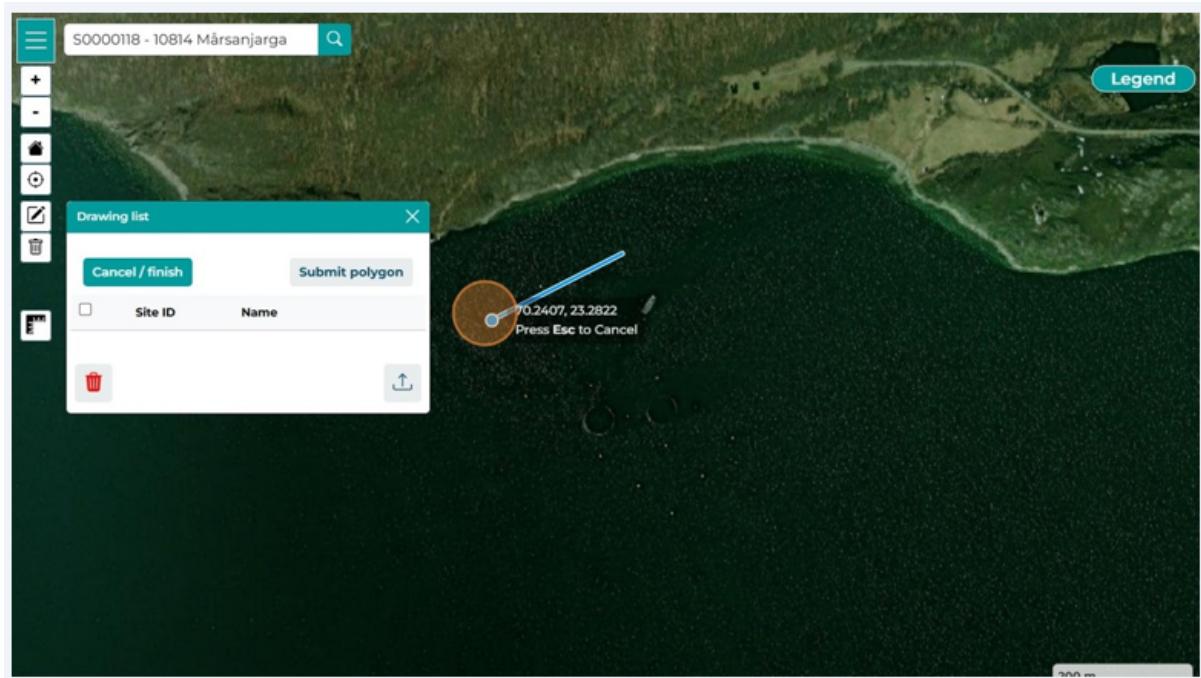
4. 開いたら、描画機能を有効にするため「*Draw Polygon*」ボタンを選択してください。ここから、これまでに描画されたすべての取得済みの図形とその詳細をご覧いただけます。詳細は「Drawing List」セクションでご確認いただけます。



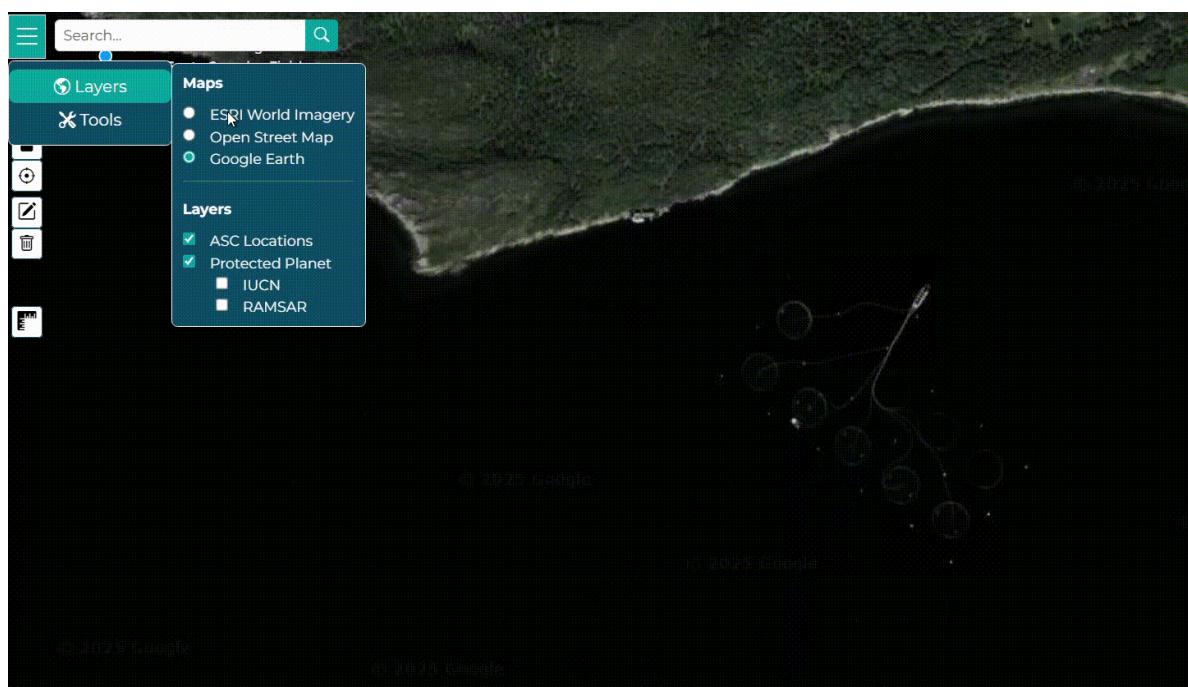
5. 地図をクリックして養殖場エリアの描画を開始してください。



6. マウスを移動すると、描画の開始点（ノード）を固定したまま青い線が表示されます。マウスの現在位置のGPS座標が表示されます。この新機能により、正しい位置が取得されていることを確認しやすくなります。特に、クライアントがすでにGPS座標を取得している場合に有効です。

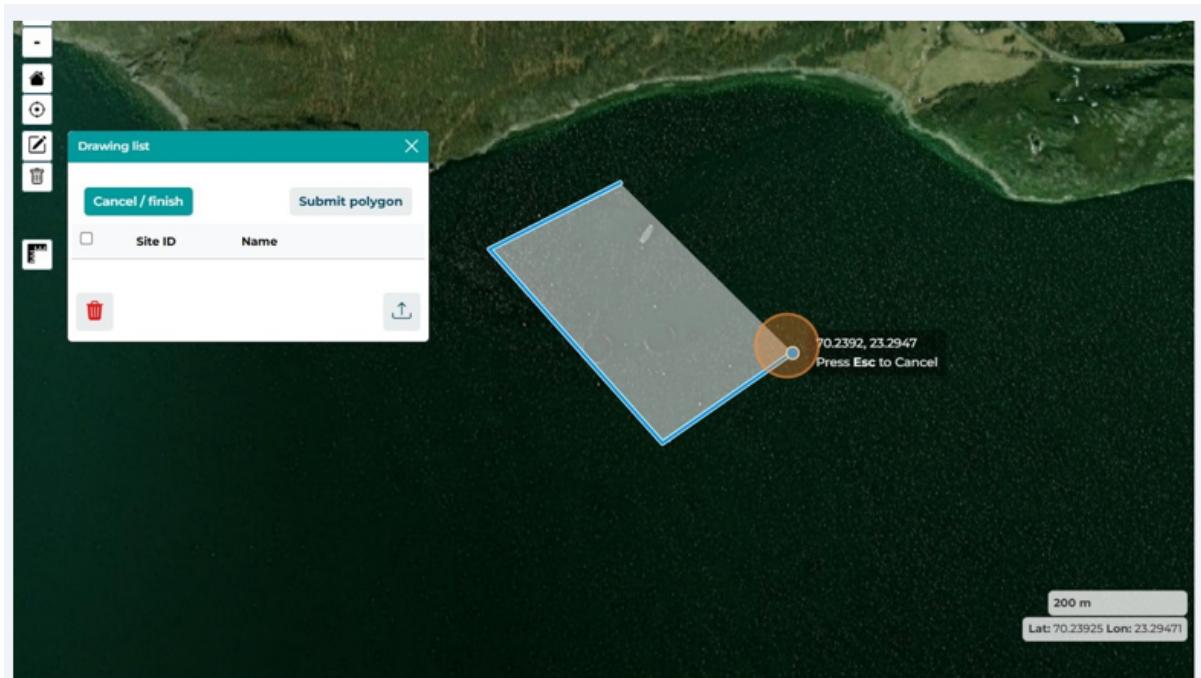


7. 描画を続けるにあたり、取得するポリゴンの各点をクリックし、可能な限り正確にエリアを表現してください。現在の衛星画像でエリアが正確に表示されていない場合は、「Menu -> Layers -> Maps」リストでベースマップを変更することも可能です。別の をご覧



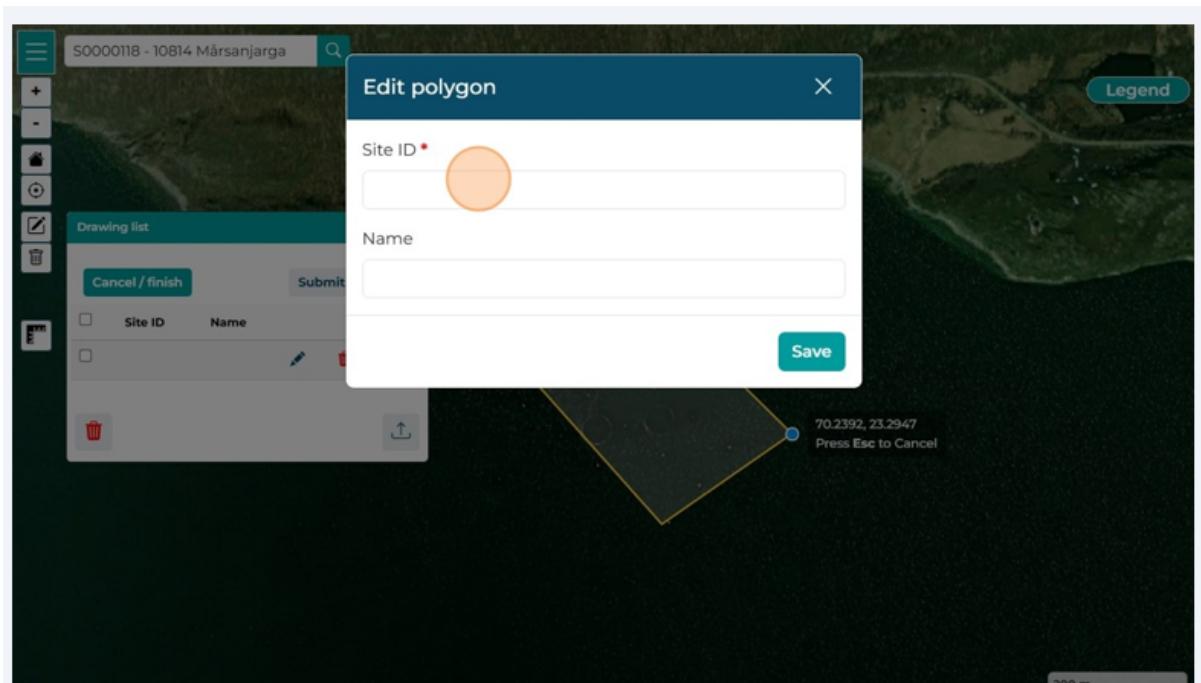
になるには「Google

Earth」オプションを選択してください。



8. 描画が完了したら、ダブルクリックして描画を終了します。ポップアップアップダイアログが表示されます。ここでは、テキストボックスにサイトIDと養殖場の名称を入力してください。描画モードを終了するには *Esc* ボタンをクリックします。

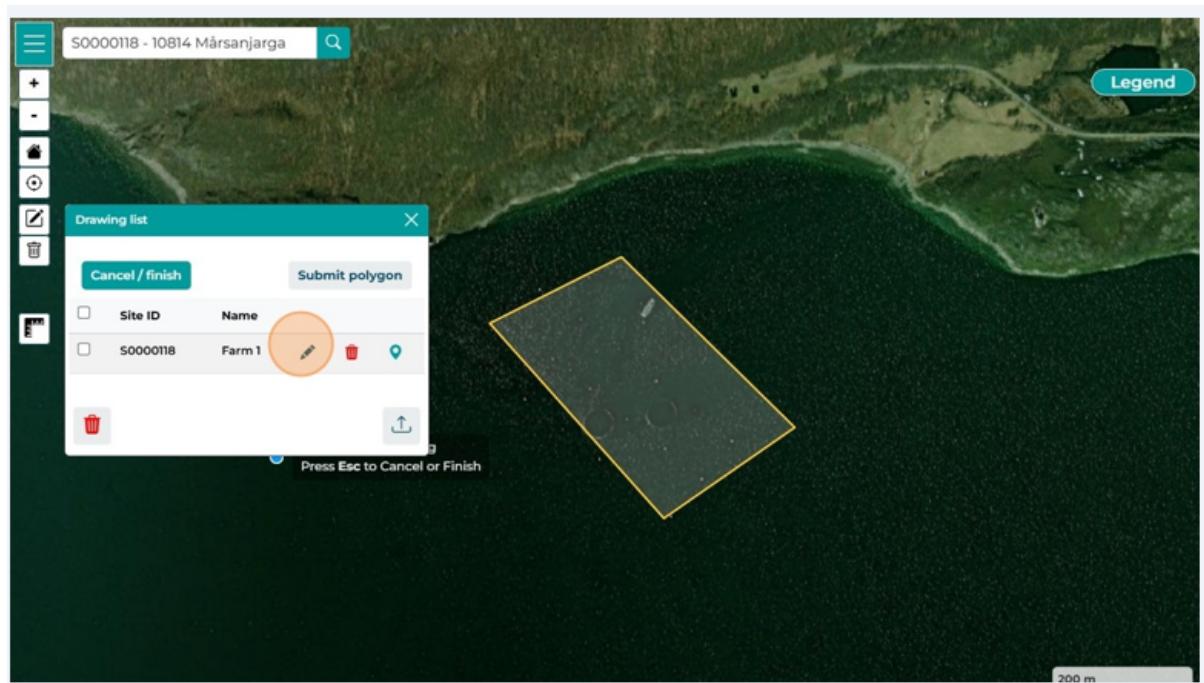
この新機能により、このツールの前バージョンで発生していた、名称の誤り（例：GIS\_FarmName.json）によってファイルが拒否されることがなくなります。入力内容が誤っている場合は、エラーメッセージが表示されます。完了したら、**保存**ボタンをクリックします。編集は、描画リストの**編集**ボタンで行えます。



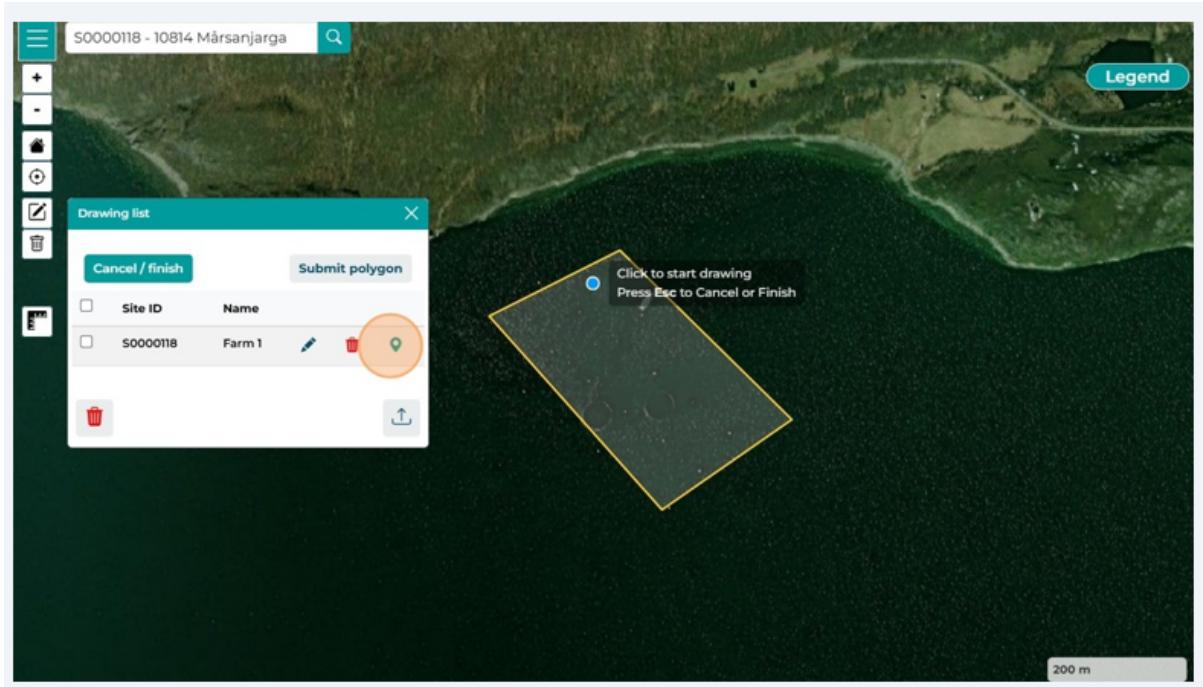
9. ポリゴン描画の境界を編集する必要がある場合は、*Esc* ボタンをクリックして描画モードを終了します。編集が必要なポリゴン描画の部分にマウスを移動すると、青い点が表示されます。青い点がポリゴンの描画線上に表示されたら、左クリックしてポイントをドラッグし、移動します。編集方法は、下の編集前（左画像）と編集後（右画像）をご参照ください。



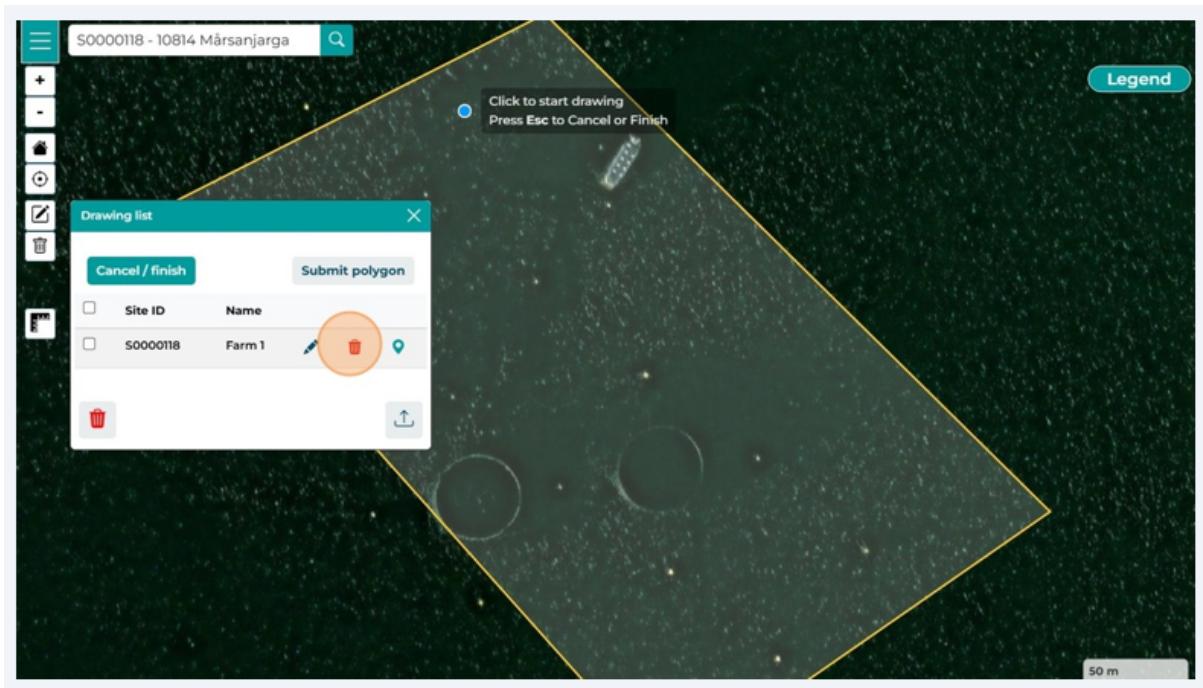
10. 新しい養殖場および描画済みのすべての養殖場は、その詳細とともに描画ダイアログボックスに表示されます。ファイル名が誤っており編集が必要な場合は、**編集ペン**ボタンをクリックします。



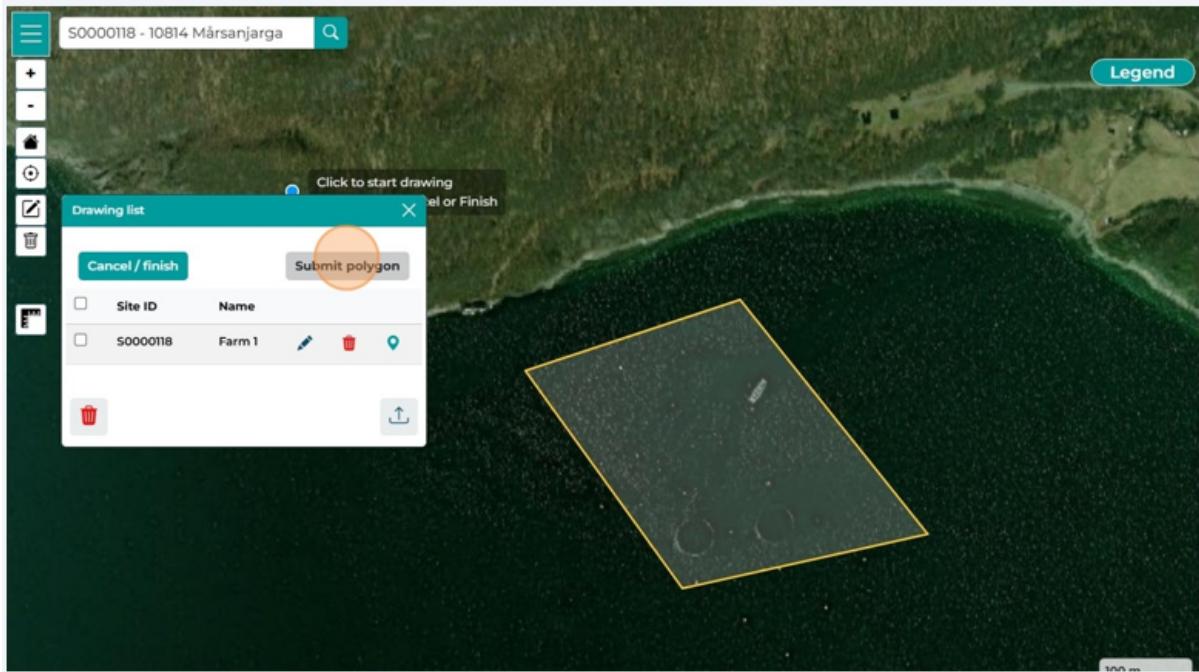
11. ピンアイコンをクリックして、作成済みの任意の描画を地図の中心に表示します。



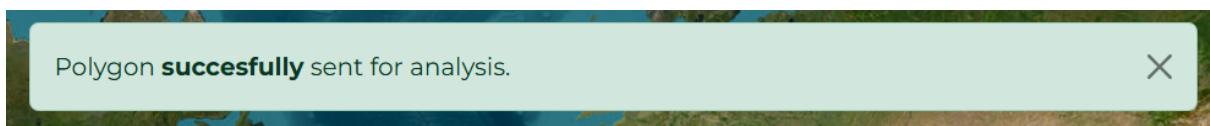
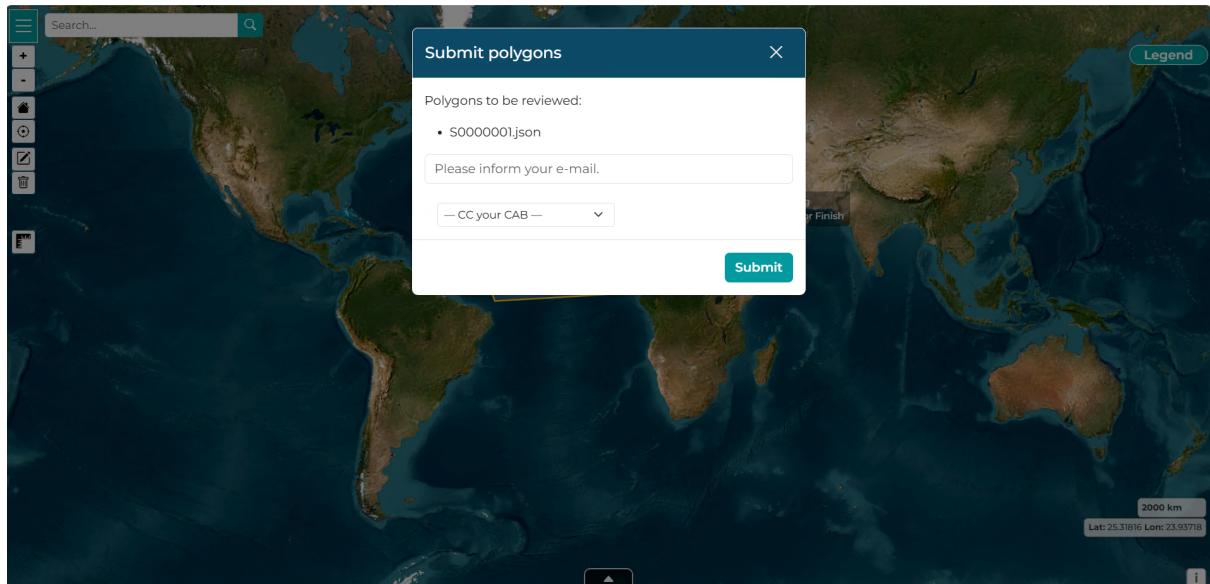
12. 描画を削除するには、一覧の赤い「ゴミ箱」アイコンを選択します。



13. 最後に、「*Submit Polygon*」ボタンを選択して、すべてのポリゴンを提出します。この新機能により、過剰なメール送信プロセスが不要になり、ASC のデータ用メールアドレスに直接送信されます。これにより、ファイルを不要にダウンロードして名前を変更し、それから ASC に直接メール送信する必要もなくなります。データの取り扱いは根気のいる作業であり、一度に多数のサイトを一括アップロードしなければならないクライアントへの大きな負担がありました。



14. ポリゴンの提出記録を保持できるよう、提出の CC にご自身のメールアドレスを追加します。また、提出物のコピーが届くよう、審査に関連する審査機関を選択します。*Submit*」をクリックすると、ASC、ご自身、およびご自身の審査機関にメールが送信されます。以降、アップロードの状況や、是正または説明が必要な軽微なエラーがある場合には、ユーザーに通知されます。



## 7. プロセス – 審査機関。

前述のとおり、審査機関は、デスクレビューおよび審査プロセスの一環として、クライアントが作成した養殖場ポリゴンの正確性を検証することが求められます。ポリゴンの精度の検証は、養殖場に対する審査機関（CAB）の予備評価の一部を構成する場合もあります。本ガイドのこのパートでは、審査機関が ASC OFMT を使用して、クライアント（CH）または申請者によって作成されたサイトのポリゴンの正確性を確認する方法について詳述します。ポリゴンは、認証単位ニンショウタンイ（UoC）内の一つ以上の生産ユニットまたはサイトの境界を表すために使用されます。

明示的な指示がない限り、すべての情報を含むメールは審査機関の代表メールアドレスに送信されます。これらのメールは適切な審査員に転送する必要がありますので、これらの受信箱を定期的に監視するようにしてください。確認用のポリゴンが .json 形式で添付されたメールを受信した受信箱にアクセスしてください。ポリゴンの送付先メールアドレスを変更する場合、またはASCからポリゴンを受信する際の問題を報告する場合は、[data@asc-aqua.org](mailto:data@asc-aqua.org) にご連絡いただくな、[「Report Issue」](#) ボタンをご利用ください。

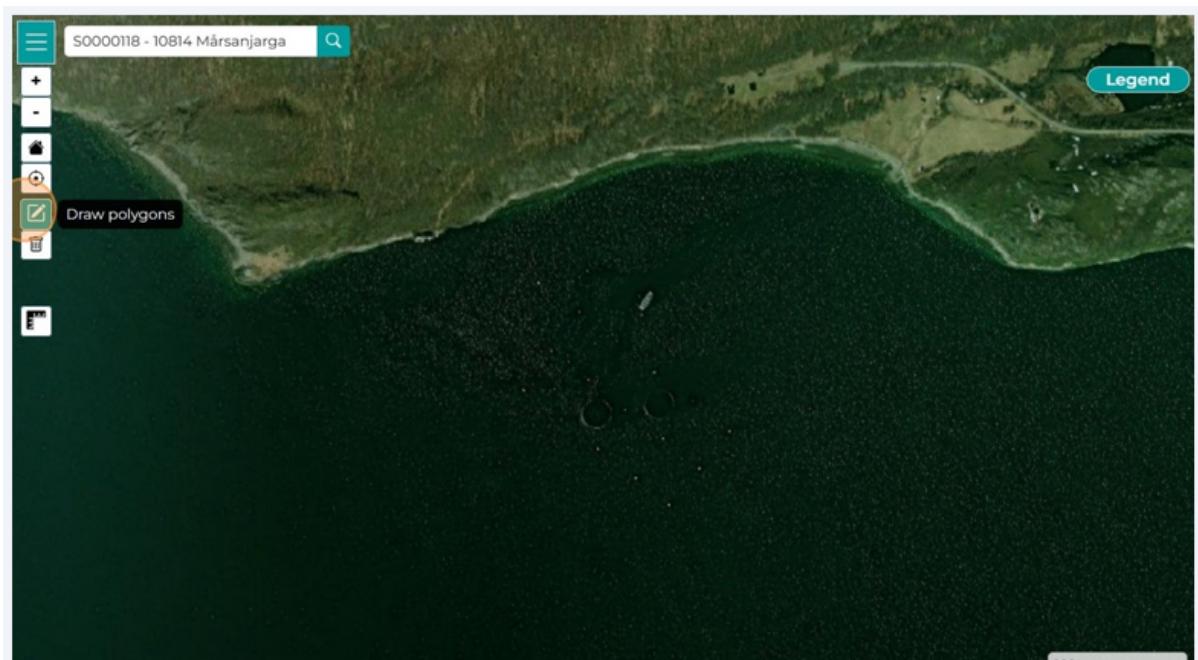
これは、本ガイドに記載されているのと同じツールを用いてクライアント（CH）がすでに取得しており、ASC、CHご本人、ならびに当該サイトの審査に関連する審査機関にメール送付されています。

ご留意ください。養殖場の設置位置が環境基準に対して適切かどうかに関する問題について、審査機関からの連絡がない場合、ASCは問題がないものとみなし、必要に応じて手続きを進めます。

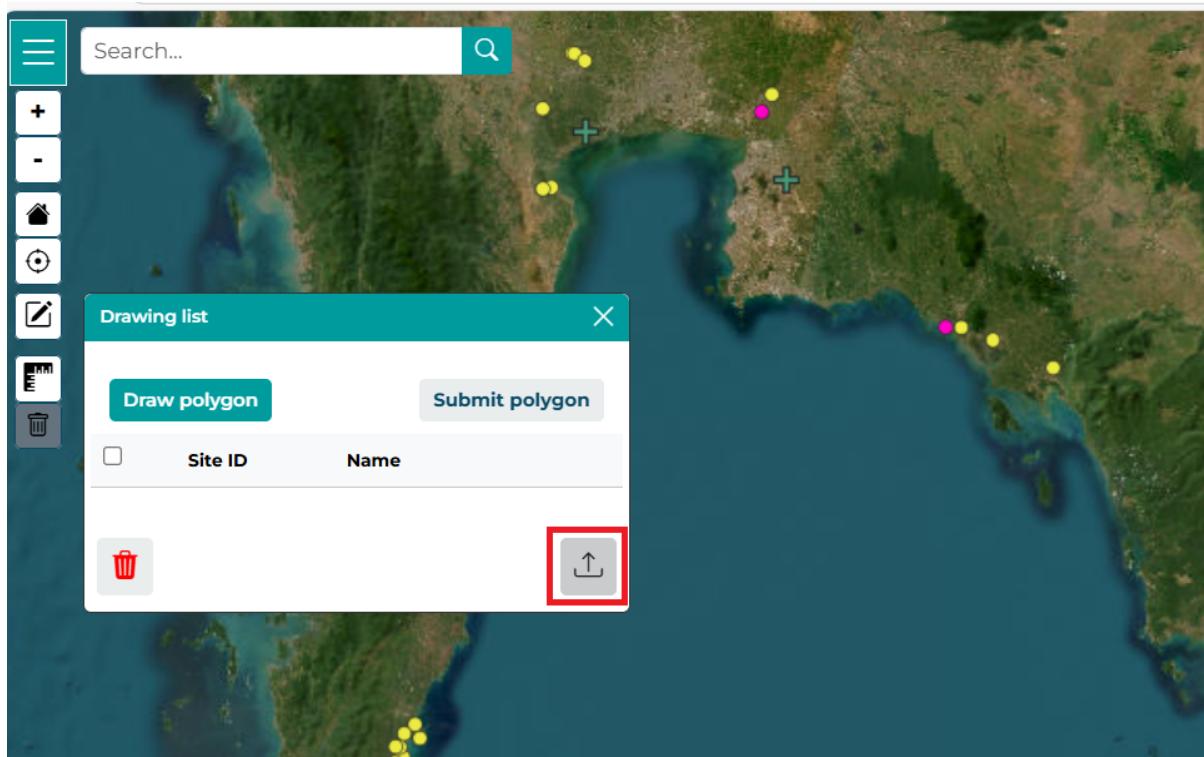
1. .json ファイルを含むメールを受信したメール受信箱にアクセスしてください。
2. ポリゴンのアップロード – 「Search…」フィールドをクリックすることから始めてください。サイトID、サイト名、クライアント、または任意の地理的エリアを入力して、表示が必要なサイトを特定します。検索結果から該当する結果を選択してください。



3. 地図は選択したエリアにズームします。サイトの位置に到達したら、*Draw Polygon* アイコンを選択してパネルを開いてください。詳細および機能の全容は、[Drawing List](#) セクションでご確認いただけます。



4. 開いたら、メールでお客様宛に送付されたポリゴンの .json ファイルのアップロードおよび地図上での表示を有効にするために、**Upload Polygon** アイコンを選択してください。

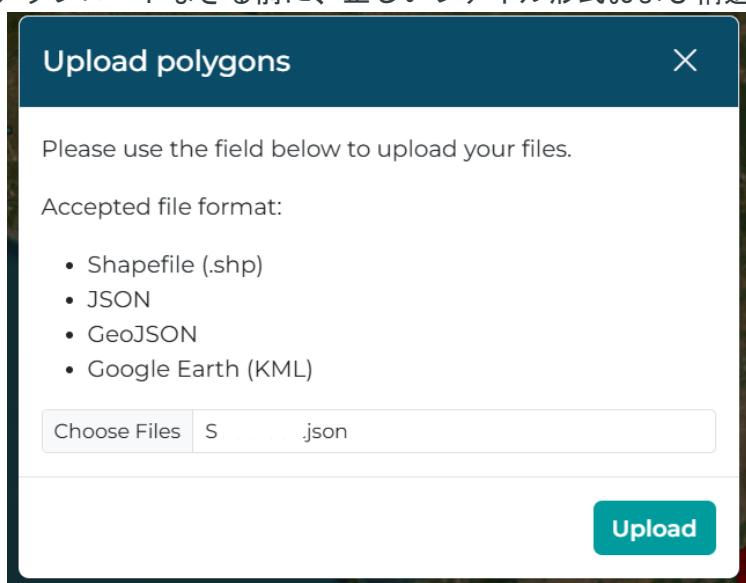


こちらでは、アップロード済みのすべての図面とその詳細をご覧になれます。「*Choose Files*」アイコンをクリックなさるとポップアップが開きます。続いて、ポリゴンの .json ファイルを選択するか、ポップアップにそのファイルをドラッグ & ドロップしてください。ファイルはポップアップウィンドウに表示されます。ファイルを追加するには「*Upload*」をクリックしてください。

5. 確認メッセージとともにダイアログボックスが閉じ、アップロードされたファイルが「*Drawing List*」に表示されます。アップロードなさる前に、正しいファイル形式および構造であることをご確認ください。

アップロードに失敗した場合は、エラーのポップアップが表示されます。先にこの文書で説明したとおり、メインメニューの「[問題を報告](#)」アイコンをご利用ください。

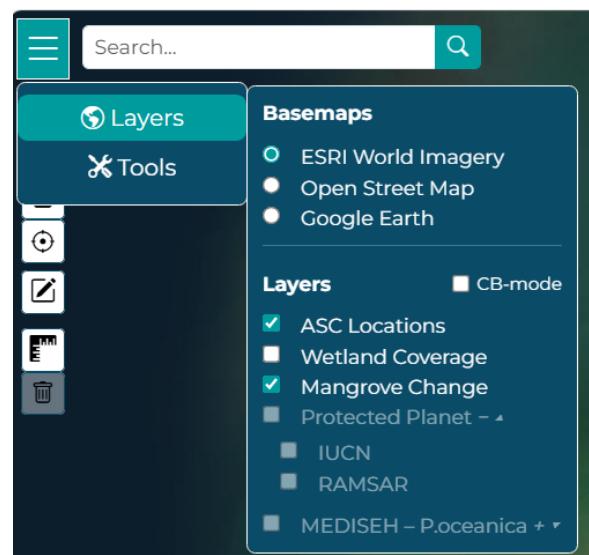
送信されたポリゴンサイトに地図をズーム表示するには、*Locate* アイコンを選択してください。ポリゴンが審査サイトの位置に合致していること、また、その位置および境界が他の審査文書と整合していることをご確認ください。



6. 審査機関は、養殖場の所在地に関するASC基準の指標へのサイトの適合性を検証するために、レイヤーを使用できます。「レイヤー」セクションでは、地図の背景およびデータレイヤーの表示内容を制御します：

ベースマップ（一度に一つだけ）はキャンバスとして機能します：

- Esri World Imagery
- Google Earth
- OpenStreetMap（道路やPOIを含む、等）



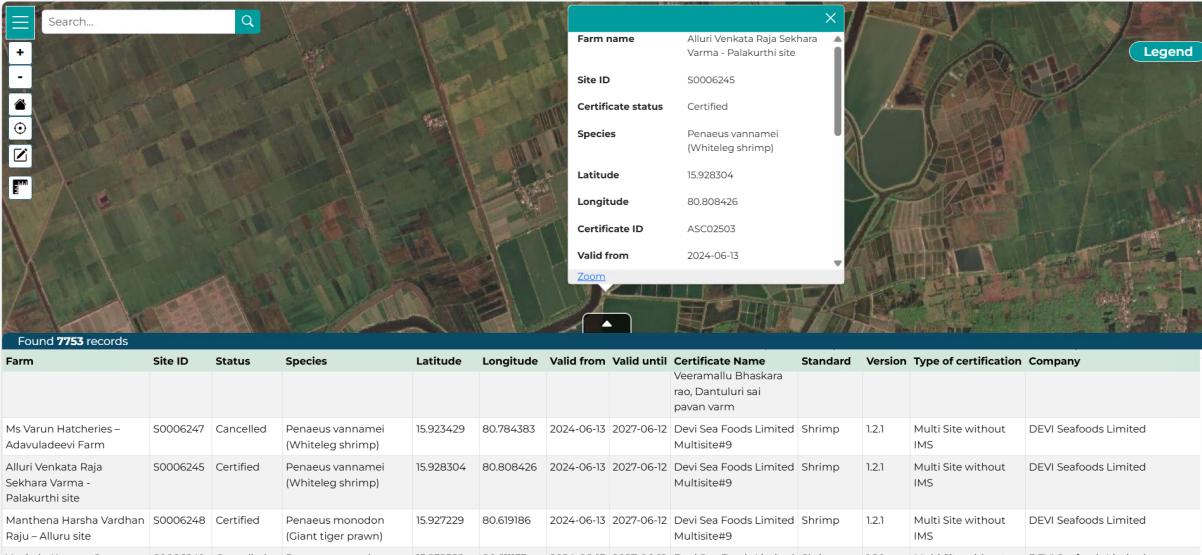
レイヤー（切り替え可能なオーバーレイ）は、前述のとおり、ASC 養殖場の位置や各エリアなどのフィーチャを表示します。Protected Planetなどのレイヤーはデータ量が多く、十分にズームインした場合にのみ表示されます。レイヤーリスト内のそれらのラベルは、十分にズームインすると有効になります。

養殖場のポリゴンの確認が完了しましたら、必要に応じて審査を進めることができます。問題が見つかった場合は、適切に対処できるよう審査に記録してください。

## 8. 追加機能。

### 8.1 養殖場記録のテーブル表示。

地図の下部にある黒い矢印を選択してテーブル機能を開きます。ここから、地図内のすべての養殖場と、それぞれの属性を確認できます。テーブル内のレコードを選択すると、その位置にズームし、地図上でハイライトされます。結果を絞り込むためのフィルター機能が統合されています。

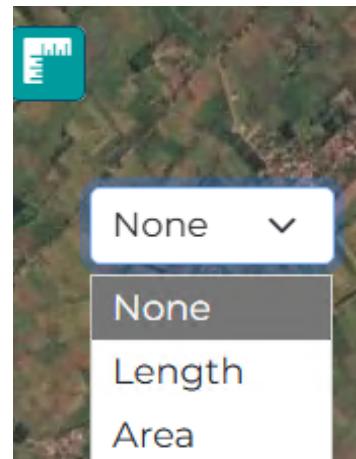


The screenshot shows a satellite map of agricultural fields. A search bar at the top left contains the placeholder "Search...". On the left side, there's a sidebar with icons for zooming in (+), zooming out (-), and other map-related functions. A callout box highlights a specific location on the map, which is then shown in a detailed view in the center-right. This detailed view includes a "Legend" button. Below the map is a table titled "Found 7753 records". The table has columns for Farm, Site ID, Status, Species, Latitude, Longitude, Valid from, Valid until, Certificate Name, Standard, Version, Type of certification, and Company. The first few rows of data are:

Farm	Site ID	Status	Species	Latitude	Longitude	Valid from	Valid until	Certificate Name	Standard	Version	Type of certification	Company
Ms Varun Hatcheries - Adavuladeevi Farm	S0006247	Cancelled	Penaeus vannamei (Whiteleg shrimp)	15.923429	80.784383	2024-06-13	2027-06-12	Devi Sea Foods Limited Shrimp Multisite#9	1.2.1	Multi Site without IMS	DEVI Seafoods Limited	
Alluri Venkata Raja Sekhara Varma - Palakurthi site	S0006245	Certified	Penaeus vannamei (Whiteleg shrimp)	15.928304	80.808426	2024-06-13	2027-06-12	Devi Sea Foods Limited Shrimp Multisite#9	1.2.1	Multi Site without IMS	DEVI Seafoods Limited	
Manthena Harsha Vardhan Raju - Alluru site	S0006248	Certified	Penaeus monodon (Giant tiger prawn)	15.927229	80.619186	2024-06-13	2027-06-12	Devi Sea Foods Limited Shrimp Multisite#9	1.2.1	Multi Site without IMS	DEVI Seafoods Limited	

### 8.2 距離・面積の測定。

このボタンにより、ユーザーは地図上で距離および面積を測定できます。開始するには、地図の左側にある定規の形をしたボタンをクリックし、測定したいパラメータを選択します。各測定について、描画中の各区画（ポリゴン）またはラインの現在の測定値がポップアップでリアルタイムに表示されます。クリックして開始し、エリアまたはラインに点を追加します。ダブルクリックで終了し、*Esc*キーで測定モードを終了します。



## 9. FAQ

「地図上でサイトの範囲／境界が表示されません。」

現在の衛星画像が対象地域を正確に表示していない場合は、メニュー → レイヤー → ベースマップのリストでベースマップを変更することも可能です。別の供給元を表示するには、Google Earth のオプションを選択してください。

「養殖場の位置が表示されない／読み込めない／正しい場所にありません。」

必要な修正事項やエラーを送信するには、[「Report Issue」ボタン](#)をご使用いただくか、[Data@asc-aqua.org](mailto>Data@asc-aqua.org)までご連絡ください。この手順の前に審査の告知が完了し公開されていることをご確認ください。その際に各サイトにサイトIDが付与され、OFMTで当該サイトを見つけることができるようになります。

「単一のサイトに対して、異なる場所に複数の養殖池があります。これらはどのように登録すればよいですか。」

個々のサイトおよびサイトIDが、複数の養殖場境界の集合で構成されている場合があります。一般的には、可能な限り1つの作図でサイトを構成していただくようお願いしています。サイトの境界を損なうことなく1つの領域内にサイト全体を作図できない場合は、[同一のサイトID](#)で複数のファイルを作成し、各ファイル名を互いに異なるものにしてください。サイトIDを重複させてよいのはこの場合に限ります。

## 10.用語と定義

本文書に適用される定義は、[ASCの用語ポータル](#)からもご覧いただけます。

用語	定義
オンライン養殖場マッピングツール（OFMT）。	ASC（水産養殖管理協議会）が開発した、 <b>空間データ</b> の提出を管理し、妥当性確認を行うためのウェブベースの GIS アプリケーションです。地図の表示、ポリゴンの描画とアップロード、面積および距離の測定、既存の養殖場のポイント位置の表示、妥当性確認のための ASC への空間データの提出が可能です。
地理情報システム（GIS）	<b>空間データ</b> を取得・保存・分析・表示するためのシステムです。位置と形状を示すジオメトリ（位置と形状）と属性（記述情報）を関連付け、点・線・ポリゴンなどの地物を可視化し、管理します。
空間データ	現実の地理的位置を記述するデータです。ジオメトリ（形状）と属性（記述情報）を組み合わせます。
属性	各地物に紐づく記述情報です（例：サイト名、サイトID、魚種、認証状況）。地物が OFMT で選択されたときに、属性テーブルまたはポップアップに表示されます。
地物	ジオメトリと属性をもつ单一の対象です（例：サイトIDをもつサイトのポリゴン）。
ジオメトリ	座標によって定義される地物の空間的形状（点・線・ポリゴン）です。
座標	地球上の位置を定義する数値で、通常は WGS84 座標系の緯度・経度です。座標の集合は、点・線・ポリゴンといった地物のジオメトリを構成します

ポリゴン	1つ以上のリングによって定義されるジオメトリで、リングとは同一点で開始し同一点で終了する経路のことです。ポリゴンは、認証単位ニンショウタンイ (UoC) 内の1つ以上の生産ユニットまたはサイトの境界を表すために使用します。地図上に表示されるポイント座標に関連づけて、当該サイトの位置についてポリゴンを作図します。
ポイント	座標の組 (x, y) で定義され、地図上に配置されるジオメトリです。ASCの審査手順においては、審査告知段階でサイトのポイント座標を取得し、提出します。この情報が提出されると、各種のASCの空間プラットフォームに直接表示されます。
ライン	2つ以上の連結された座標から成るジオメトリで、河川、道路、境界などの線状の特徴を表します。ラインは、より大きな空間データレイヤーの一部を構成することができます。OFMTでは、ラインは測定目的にのみ使用します。
レイヤー	類似のジオメトリを持つフィーチャのグループで、地図上にまとめて表示されます。ASCのレイヤー、または第三者のレイヤーである場合があります。
属性テーブル	各フィーチャに関連付けられた表形式データで、関連する詳細（例：サイト名、サイトID、クライアント）を含みます。OFMTの下部に表示されます。
ポップアップ	ユーザーがOFMT上のフィーチャをクリックしたときに表示される情報ボックスです。
座標参照系 (CRS)	地球表面上でポイントやポリゴンの座標をどのように表示するかを定義する空間参照の枠組みです（例：緯度経度を示すWGS84）。
Json	データを保存するためのテキスト形式のファイルで、この場合は空間データです。各エントリにはフィーチャとそのジオメトリが含まれます。

<b>バリデーションチェック (VC)</b>	GISコーディネーターが実行する自動プロセスで、 <b>空間データとそのジオメトリ</b> が所定の構造（命名規則、有効なポリゴン形状、重複なし、正しいJSON形式）に従っていることを検証します。
<b>最小ズーム／最大ズーム／ズームレベル</b>	アプリケーション上で地図レイヤーが表示または非表示になる閾値となるズームレベルです。
<b>凡例</b>	地図で使用される記号、色、またはレイヤースタイルの意味を示すガイドです。フィーチャごとに異なる色や記号が表示されます。
<b>ベースマップ</b>	OFMT上に重ねられ、その上に各レイヤーが表示される背景地図（例：衛星画像、地形図）です。
<b>座標取得ツール</b>	ユーザーが位置をクリックしてその座標を取得できるようにする <a href="#">ASCのWebアプリ</a> です。告知前に座標を検証できるよう、審査告知のための最初の提出時に実施します。
<b>提出</b>	ユーザーが <b>空間データ</b> （JSONファイル）を送付し、アップロード前にバリデーションチェックを受けるためのプロセスです。
<b>イエローステータス</b>	一つ以上のファイルがVCに不合格となった提出物です。送信者／審査機関へ是正および再提出のために返却されます。
<b>オレンジステータス</b>	すべてのファイルがVCに合格し、データベースへのアップロード待ちのキューに入ります。この処理はVCから最大5日を要します。
<b>グリーンステータス</b>	すべてのファイルがVCに合格し、データベースへのアップロード待ちのキューに入ります。
<b>重複座標</b>	ジオメトリがデータベース内の既存のフィーチャ、または自身と重複または反復する場合です。これは、同じポリゴン内で描かれた点同士が近接し

	すぎているときに、VC の実施中に発生します。通常、VC 中にイエローステータスとしてフラグ付けされます。
命名規則	各提出物を一意に識別するために必要なファイル名パターン（例：S0000123.json）です。先頭に「S」、続いて7桁の数字が入り、末尾に「.json」が付きます。
描画ツール	提出のために地図上で新しいポリゴンを作成する際に使用するコンポーネントです。

## 11. 役割と責任

役割	責任
GISコーディネーター。	すべての空間データおよび関連文書を管理・維持し、統括します。
審査機関（CAB）一審査員。	提出された空間データを審査し、審査手順に関するASC基準への適合性を確保するために、レビューおよびフラグ付けを行います。
依頼者。	ASC要件への適合を図るため、適切な段階でレビューおよび保管に向けて、自身の空間データ（点およびポリゴン）を作図して提出します。依頼者は、当該審査に関連する養殖場を代表するUoC／認証書の所有者／エンドユーザーを意味する場合があります。